

# Challenging New Worlds with Big Sky-thinking

～大胆な発想で新しい世界への挑戦～



SINANEN

証券コード：8132

# SINANEN REPORT

シナネンホールディングス株式会社

第87期 第2四半期 株主通信

2020.4.1 ~ 2020.9.30



## CONTENTS

P1 トップメッセージ

P2 セグメント別事業の概況  
上期及び直近のトピックス

P3 **[特集] 風土改革プロジェクト**  
**風土改革によって**  
**何を変える？**

P5 第14回「いつもありがとう」  
作文コンクール優秀作品紹介





エネルギーソリューション事業が  
堅調に推移し、大幅な営業増益を達成。  
成長戦略の要である風土改革・働き方改革の  
推進を更に加速させていきます。

代表取締役社長 **山崎 正毅**

## ■ これまでの取り組み

当社グループは、当期より第二次中期経営計画をスタートしました。定量目標をROE6%以上とし、定性目標を資本効率の改善、持続的成長を実現する投資の実行、社員の考え方・慣習・行動様式の変革に設定しています。

当期はこれまでに、低稼働資産の売却を決定し資本効率の改善を進める一方、持続的成長を実現する投資としてシェアサイクル「ダイチャリ」の拠点数拡大のほか、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進への投資を行い、クラウドベースの次世代IT基盤の構築による業務改善を図っています。また、成長戦略における最重要事項として「風土改革プロジェクト」を4月に立ち上げ、11月には「グループ改革推進室」として風土改革・働き方改革の推進を本格化させています（3ページの特集をご覧ください）。

## ■ 当第2四半期の業績・通期の業績予想

当第2四半期の業績については、原油価格・プロパンCPの下落に伴う石油・ガス等の販売単価の低下等によって減収したものの、エネルギーソリューション事業（BtoB事業）で原油市況に対応した仕入・販売施策の徹底、電力のスポット市場低迷による差益改善等の結果、営業利益は前年同期比6倍強に増加しています。また、非エネルギー及び海外事業においては、抗菌事業、環境・リサイクル事業の好調

による黒字転換を果たしています。

新型コロナウイルス感染症による業績への影響は当社グループの事業全体においては軽微であり、第3四半期以降も主力であるエネルギー関連事業への影響は限定的と考えています。

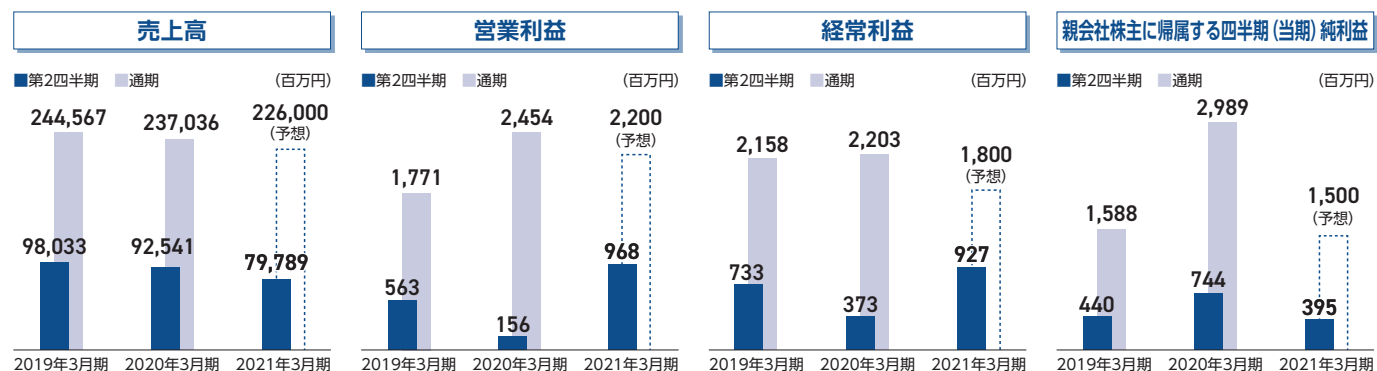
2021年3月期通期予想につきましては、売上高が前期比4.7%減の2,260億円、営業利益が同10.4%減の22億円と投資先行で減益想定の方、第4四半期計上見込みの特別利益を含め、通期連結業績予想の修正については精査中です。必要に応じ、速やかに開示いたします。

## ■ 脱炭素社会の到来を見据えて

今後、当社グループは「脱炭素社会」の到来を見据え、企業としての取り組みを強化していきます。第二次中期経営計画の3カ年はその基盤整備期間であり、事業構造を確立させ、次なる第三次中期経営計画において、さらなる躍進と飛躍を目指します。あらゆる分野において従来の枠組みにとらわれず、時代の変化に柔軟に対応できる体制づくりを進め、持続可能な社会に貢献するグローバル総合エネルギーサービスグループへの挑戦を続けていきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- ポイント**
- ☑ 原油価格・プロパンCPの前年比割れに伴う販売単価の下落により売上高は減収
  - ☑ 原油市況の変動に対応した販売・仕入施策の徹底などにより営業利益は6倍強の増加
  - ☑ 前期あった特別利益の剥落により四半期純利益は減少



## エネルギー卸・小売周辺事業 BtoC事業



- ▶ **石油・ガス事業** 夏場の平均気温が平年より高かったこと等により販売数量が減少。新型コロナウイルス感染症による営業自粛の影響で飲食店等向けの業務用LPガスの需要減や給湯器等の機器が販売不振となり影響。
- ▶ 「ミライフでんき」の販売を西日本エリアでスタート。
- ▶ 東京都あきる野市に水回りリフォーム専門店をオープン。

## エネルギーソリューション事業 BtoB事業

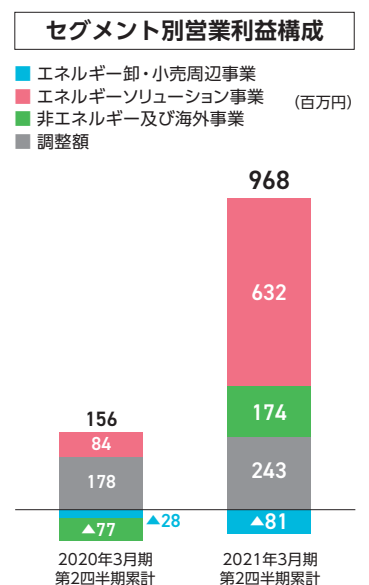
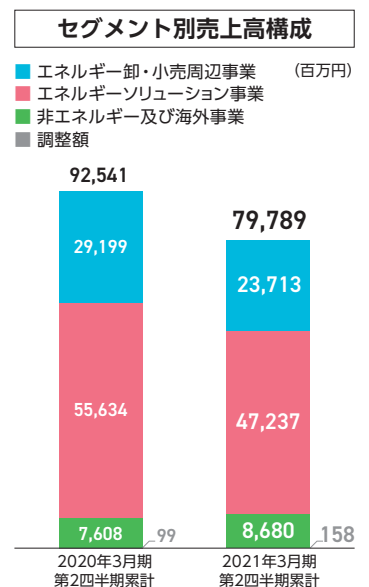


- ▶ **石油事業** 市況の変化に対応した仕入・販売施策を実施。軽油の販売にも注力し、石油販売施設（オイルスクエア）の整備を推進。2020年9月末にSS運営会社を買収し、運営を開始。
- ▶ **電力事業** 電源構成の最適化による原価低減に取り組むとともに、卸売顧客の開拓を推進。また、メガワット級太陽光発電所案件の販売を開始。

## 非エネルギー及び海外事業



- ▶ **自転車事業** 同感染症の拡大の影響で、新入学等の需要が当第2四半期にずれ込む。また特別定額給付金の支給等により、自社小売店舗「ダイシャリン」での販売が順調に推移。
- ▶ **シェアサイクル事業** 大手コンビニエンスストアとの連携や新たな連携先の拡大、地方自治体との実証実験等により、首都圏を中心に拠点の開発を推進。
- ▶ **環境・リサイクル事業** 同感染症の拡大により建築廃材の受け入れ数量に若干影響も、後半には回復し、順調に推移。
- ▶ **抗菌事業** 世界的な同感染症の拡大を受けて、北米のマスク向け抗菌剤の受注が大幅に拡大。北米向けは一段落したものの、国内外からの問い合わせが急増。
- ▶ **システム事業** 電力自由化に対応した顧客管理システムは、同感染症の影響により新規顧客数の増加がスローダウン。
- ▶ **建物維持管理事業** 同感染症の影響で、管理施設の休業等があった一方、病院等向けの感染症対策消毒の引き合いが増加。集合住宅向け設備工事・リフォーム工事等は回復。3月にグループ化した子会社も貢献。



## // 上期及び直近のトピックス



**埼玉県南西部の新たな都市交通を目指し  
自治体とシェアサイクル実証実験を開始**

当社グループのシナネンモビリティPLUS株式会社は埼玉県志木市とOpenStreet株式会社との間で「志木市シェアサイクル実証実験に関する基本協定書」を締結し、2020年8月よりシェアサイクルの実証実験を開始しています。市内にはシェアサイクル「ダイチャリ」のステーションを38か所設置しており、都市の新たな交通システムとしての有効性や課題を検証していきます。また、近隣の朝霞市、和光市にはすでに約150か所のステーションが設置されており、埼玉県南西部における広域での地域交通の補完を目指しています。

※ステーション数は本取り組み発表時の数字となります。



**固定資産の譲渡を決定  
資本効率の改善へ**

当社グループは、2020年11月、東京都品川区に保有する固定資産の売却を決定し、第二次中期経営計画の定性目標に掲げた経営施策（資本効率の改善）を進めています。本資産の売却に伴い、当第4四半期に特別利益約21億円を計上する見込みです。引き続き、低稼働資産の活用・売却を精査し、資本効率の高い事業構造の構築を進めていきます。

なお、特別利益の計上による通期連結業績予想の修正については、修正を行う必要が生じましたら速やかに開示いたします。

## グループ全社を巻き込んだ大改革

# 風土改革によって 何を変える？

いま、当社グループでは第二次中期経営計画において掲げた「社員の考え方・慣習・行動様式の変革」の目標に対する具体的なアクションとして、「風土改革プロジェクト」が進行中です。持続的なグループの成長を実現する「土台づくり」への取り組みをご紹介します。

## 「風土改革プロジェクト」 その目的と目指す姿とは？

**中西** 当社グループでは、第二次中期経営計画の目標に「社員の考え方・慣習・行動様式の変革」を掲げたことを受け、今年4月より「風土改革プロジェクト」を立ち上げ、経営層やマネジメント層を含む全社員の意識改革に取り組んでいます。

エネルギー業界が変革のときを迎える今、当社グループは既存事業に変革を起こし、大胆な発想で新しい世界に挑戦する風土を育むことが重要だと考えています。組織風土は、そこで働く社員の自発的な行動の積み重ねによって変わっていくものであり、トップダウンによる強制では実現できません。そこで、このプロジェクトでは、まず社員と一緒に目指す風土のビジョンを定め、全員が自分事として変化を生み出していけるプロセスを固めていく考えです。プロジェクト発足の経緯と活動状況について、専任として実務に取り組む2人の社員からご説明いたします。

## プロジェクト発足のきっかけは 社員と社長の問題意識の合致

**藁科** 当社グループの風土における課題は、トップダウンが強くボトムアップの主体的な行動が生まれにくいこと、会社・部門・役職を越えたコミュニケーションや連携が少ないことでした。社長の山崎は風土改革の必要性を感じていたことから、第二次中期経営計画で風土改革を実行するということを昨秋に骨子として社内発表しました。

**亀田** 各事業会社社員も風土に対して漠然と課題感を抱いており、骨子が発表されたタイミングで私を含む社員有

既存ビジネスの延長では  
いられない今、  
「人」と「組織」が  
問われます



グループ改革推進室  
藁科 莉恵

執行役員 人事部長 兼  
グループ改革推進室長  
中西 信昭

グループ改革推進室  
亀田 菜摘

志7名が風土改革の具体的な進め方について山崎に提案しました。何度かディスカッションを重ね、社長をオーナーに据えた専任体制の「風土改革プロジェクト」が今年4月に立ち上げられました。

## 組織の問題を洗い出し 変革の必要性を自覚させる

**藁科** プロジェクトでは、まず3カ年におけるマイルストーン(右上図を参照)を策定し、今年度を「解凍」のフェーズに定めています。HD役員や各事業会社社長へのインタビューを行い経営層の風土に対する認識を言語化すると共に、全社員を対象とした職場座談会を通じて不平・不満や組織の問題点を洗い出し、組織全体が変革の必要性や危機感を自覚することから始めました。

**亀田** プロジェクトに対し、当初は疑念や冷ややかな意見もありました。しかし、発足以降、山崎自身が社員と本音で向き合うことで雰囲気は大きく変わってきています。7月には山崎みづからが第二次中期経営計画と風土改革の概要について説明し、社員からの匿名の質問や意見に直接回答するオンラインセッションを実施。各事業会社から1,000名以上が参加し、風土改革の社内認知度が高まりました。セッション後のアンケートでは、想定以上の様々な意見や提言が寄せられ、プロジェクトへの期待と信頼の高まりを感じることができました。

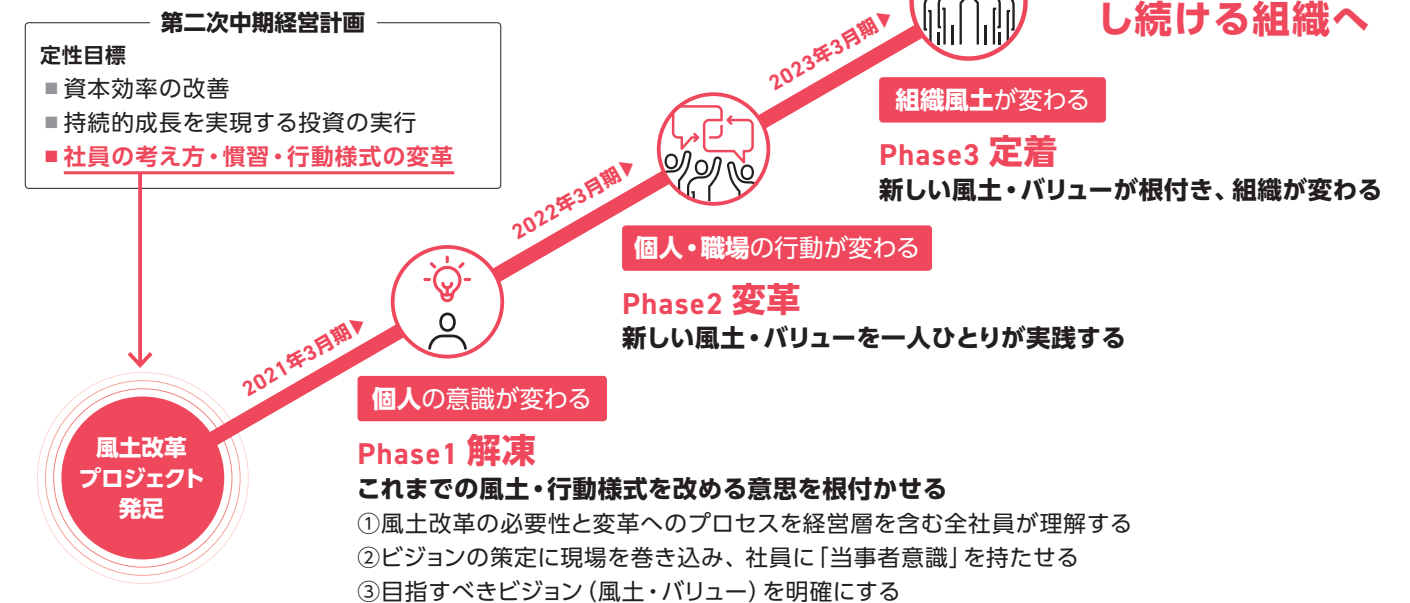
さらに現在では、山崎が全国各拠点に足を運び、社員とのFace to Faceセッションを実施しています。現場の生の声を聴くことで現状を正しく把握し、目指す風土の具体化と解決策立案に繋げていきます。



経営層インタビューで問題意識と目指す風土を言語化しました。

## 風土改革プロジェクトの概要

「風土改革プロジェクト」は、第二次中期経営計画の定性目標と関連し、持続的な成長をし続ける組織となるべく、社員の考え方・慣習・行動様式を変革し、「新たな風土」を生み出す取り組みです。「新たな風土」は社員へのヒアリングを通じ、社員と共に今期中に具体化。来期以降は具体策を実行し、第二次中期経営計画の達成を目指していきます。



## 社員の「声」を「行動」に変え 変革の波を広げていく

**藁科** ただ、現状寄せられる意見の多くは、「会社を変えてくれること」を願う受け身の声です。プロジェクトへの期待値が高いからこそ得られた意見ですが、私たちの目標はその先にあります。「自分が変革を起こしていいたい」と思える、自主性を引き出す風土をつくり、社員みづからが行動を起こして会社を変えていくことです。

**亀田** 現在、このプロジェクトには専任の私たちだけでなく、各事業会社から集まった52名の「サポーター(専任と共に活動をリードしていく立場)」と、67名の「フォロワー(活動の最新情報を受け取り、理解を深める立場)」がいて、みな「会社をもっと良くしたい」という想いをもち、自ら手を挙げて集まったメンバーです。彼らにも「プロジェクトを利用して、皆さん自身が周囲を巻き込んで会社を変えていってください」と伝えており、各メンバーが全国の現場において現状を変えるための行動を始めています。それが波となり、周囲の社員の意識を変えていくことで風土改革のスピードは加速していくはずです。



想いが「行動」に変われば、  
組織はもっと進化すると  
信じています

解凍・変革・定着。  
3カ年のプロセスで  
会社の風土を変えていきます



## 社員一人ひとりの想いや行動が 新たな風土を創り出す

**亀田** 収集した風土の問題や意見をもとに、今年度中に目指す風土の具体化や施策設計を行い、次年度は「変革」を実行します。マネジメントを含む社員の育成や、行動した人にスポットライトを当てる表彰制度、優れた事例をキャッチして共有するシステムなど、目指す風土の実践を促す様々な施策をグループ全体と各事業会社それぞれにおいて展開し、風土改革と働き方改革の両軸でPDCAを回して3カ年で新たな風土の「定着」を実現する予定です。

**藁科** プロジェクトに寄せられる意見や社員との直接対話を通じて、一人ひとりが会社をより良くしたいという強い想いを抱えていることを実感しています。この想いが行動に繋がり、グループ内のあらゆるところでボトムアップの改善活動が生まれるようになれば、当社グループは「もっと進化する」と信じています。

**中西** 当社グループは2027年の創業100周年に向けて、持続的な成長をし続ける組織となるために、風土改革を今後、より一層進めていきます。11月からは組織体制を改め、社長直下の「グループ改革推進室」として、活動を本格化させています。ぜひ、当社グループの変革にご期待ください。

# 第14回「いつもありがとう」作文コンクール

言葉ではいえない家族への気持ちを作文に書いてみよう

主催：シナネンホールディングスグループ・朝日学生新聞社  
後援：文部科学省・朝日新聞社



当社グループでは、子どもたちの健やかな成長を応援することを目的として、「いつもありがとう」作文コンクールを主催しています。14回目となる今年のコンクールには、**9,540通**の作品が集まりました。審査の結果、最優秀賞1名、シナネン賞1名、ミライフ賞1名、朝日小学生新聞賞1名、優秀賞6名、入選14名、佳作20名、団体賞9校の各賞が決定。ここでは、心揺さぶる多くの作品の中から選出された、最優秀賞、シナネン賞、ミライフ賞、朝日小学生新聞賞の4作品をご紹介します。**他の受賞作品や審査員の講評などは「作文コンクール特設サイト」でご覧いただけます。**

## シナネン賞 ま法の日記

栃木県 宇都宮大学共同教育学部附属小学校 五年

岩佐 葵

私の祖母は、時々私の名前を忘れる。父の名前も姉の名前も忘れる時がある。不思議なことに母の名前は忘れたことがない。私の事を覚えていない祖母に会いたくなくて、面会に行かない日が続いている。

祖母は認知症と診断される前から日記を書いていた。母にその日記を見せてもらったことがある。その日にしたこと、感じたことを自由にノートに書いていた。最近は記憶が薄れないように、覚えていることを必死に書いているようだ。電化製品の使い方、家族の電話番号、看護師さんの名前など、毎日繰り返し書いている。

父は、母である祖母が記憶をなくしていく状態を悲しんでいた。そして何度と同じことを聞いてくる祖母にいらだっている時もあった。ある日、その日記を見つけて読んだ父は涙を流していた。

「泣いてないで。ちよっと鼻水がでただけやで。」

父はそうごまかしていたが、父の気持ちは私にもわかっていった。

日記には、家族への想いもたくさん書いてあった。優しい親孝行な父。おっとりしているけど人一倍優しい姉。いつも熱心に何にでもチャレンジする私。自分（祖母）に似ているからすぐに仲良くなれた母。認知症になり記憶が薄れていく中で、祖母は以前と変わらず私たちを見守ってくれたのだ。祖母の言葉で私はいつも元気をもらう。今、このしゅん間の記憶がなくなっても、祖母の中には確かに家族への気持ちがあふれていることが分かる日記だった。祖母は今も私たち家族と共に生きているのだ。

次に会う日は私の名前を覚えていてくれるかな。もし忘れていても、もう一度教えればいいんだね。名札を胸にそっと付けて行くのもいいかもしれない。いつも日記で私をほめてくれてありがとう。その言葉に元気をもらっているよ。祖母にそう伝えたくて今すぐ会いたくなった。早く祖母に会いに行きたいな。そう日記に書いて眠った。

### 評価のポイント

祖母の病気について、状況を受け止めつつ前向きに過ごす様子がよく伝わってきた。

## 最優秀賞 「お母さんの左手」

埼玉県 春日部市立備後小学校 三年

米島 夏綾

わたしのお父さんは、はたらいっていない。その代わり、そうじやせんたく、ごはんを作る家事をしてくれる。わたしにとって、お父さんがいつも家について、家事をすることは当たり前だけど、スーパーの店員さんや友だちのお母さんたちからはふしぎに思われている。今まで何回お父さんの仕事は何、と聞かれたかおぼえていない。それでもお父さんはいつも笑っている。気がつくとなたしも笑っている。わたしはそんなお父さんが大好きだ。

ある日、めずらしくお父さんが笑ってくれない事があった。その日は、いつもの様にわたしとお父さんと公園に遊びに行った。しばらく遊んでいると、おまわりさんが四人あわてた様子でわたしたちの所へ来た。お父さんがわたしをゆかいしようとしていると、だれかがつうほうしたらしい。さすがのお父さんもこの時はおちこんだらしく、今夜は飲みたない気分、と言ってコーラを一口だけ飲んでむせていた。お父さんは、お酒もたんさんもしらいて、この時しか飲んでいるすがたを見た事がない。わたしの前ではいつも笑っていて、やさしいお父さん。いやな事があつたらまたコーラ飲んでね。

お父さんが家事をしているのには理由がある。お母さんの左手だ。わたしのお母さんは、生まれた時から左手が思うように動かせない。物を持つ事もつかむ事もすごく大へんだ。お母さんがわたしをけがさせない様に、お父さんとお母さんはわたしが生まれてくる時に、役わりを交代しようとした。だから、わたしの家ではお父さんが家事を、お母さんがはたらいている。

お母さんを見ただけで、左手が動かないと分かる人はいないだろう。外見では、わたしの左手と何もかわらない様に見える。だから、左手が動かない事を分かってもらえず、いやな事をされたり、言われる時がある。それでもお母さんもいつも笑っている。いやな事を言う人よりも、手つだつてくれたり、やさしくしてくれる人の方が多くから、お母さんは人に感しやして笑顔でいる事を大切にしている、と教えてもらった。

新がたコロナウィルスのせいで、学校に行けなかったり、友だちに会う事もできなかつたけど、お父さんとお母さんがいづもそばにいてくれたからぜんぜんつらくなかつたよ。毎日、おいしいごはんを作ってくれてありがとう。お父さんの作るごはんが、世界で一番おいしいやう。

お母さん、いつも東京まではたらきに行ってくれてありがとう。あたしもお母さんに負けない様にべん強がんばるね。

そして、お母さんの左手。あなたのおかげで、わたしの家は明るくて毎日楽しいよ。これからも、たくさんお手つだいするからね。ふつうに動かないかもしれないけれど、わたしはあなたが大好きだよ。わたしにとつて、あなたはだれよりもすてきな左手だよ。本当に、ありがとう。

### 評価のポイント

構成力が素晴らしい。両親のことがしっかりと書けており、読むとシーンが浮かんでくる。

## 朝日小学生新聞賞 わが家の山んば様

静岡県 磐田市立豊田南小学校 四年

斧研 伊織

ほとくの家には山んば様がいらっしゃる。この山んば様、世界最強なのだ。家族全員がインフルエンザにかかっても、山んば様は一人だけ元気でぼく達のお世話に動き回っていた。強健な体だ。ようち園のとき読んだ絵本の中の山んばは、最後はよもぎの汁で体がくさり、しょうぶの葉で体を切られて死んだけど、うちの山んば様はちがう。毎年正月によもぎもちを食べる年々大きくなり、ビールを飲みながらしょうぶ湯に入って、最高だあと言う。しかも、ほとくの心の中が分かるんだ。ほとくの顔を一目見ただけで、学校でいやなことがあつたと分かる。うれしいことがあつたと分かる。ふしぎだ。

友達とあのことがあつたとき、だれにも言えなくて、はずかしくて、苦しくて、心がはれつしそいで、思わず山んば様に言ってしまったことがある。するとなぜか次の日には全てのことがかい決していた。山んば様には、ま力があるようなのだ。おそろしい。

このお方の弱点は何だろう。どれだけ考えても分からない。だけど、聞いてみたらかん単に教えてくれた。

ほとくが先に旅立つこと。

それは山んば様の心をにぎりつぶし、山んば様の体にこま切れにするようないたみを与えるのだそう。そんなことになったら、あの世で会ったときにグーパンチを百発くらわせてやると言っている。そしてえんま大王のパンチをうばい取って、したをひっこぬいてやるとおどしてきた。このお方なら、えんま大王も負けるかもしれない。本当におそろしい。しかも百二十才まで生きたとせん言しているんだ。そのときほとくは九十才だぞ。だからほとくは好ききらいはしない。魚も野菜も食べる。早ね早起きをして、ゲームだつて週にたつたの二回だ。虫菌になったこともないし、ここ数年は病院にも行っていない。毎日かいべんだ。えんま大王にとつぜんつれて行かないように、毎日がんばっているんだ。

こうしてよく考えてみると、先に旅立たないって、ぜつたにやくそくすることのできない、とてもむずかしいことなんだ。だけど、いつでも元気なほとくでいて、毎日山んば様を安心させてあげたいなあと思っている。だつて、外でどんなにつらくても苦しいことがあつても、一歩家に入るとなぜかほとくとする。うれしいことがあつたら、百倍幸せな気持ちになる。世界最強の山んば様が、毎日ほとくを守ってくれているからだ。百発グーパンチをくらわれないように、一日一日を大切にしていこう。九十才かあ。約束はできないけど、今のところは大吉ようぶだ。だからこれからもほとくをよろしく、山んば様。いや、ほとくのお母さん！

### 評価のポイント

日常生活の中にあるたくさんさんの「ありがとう」に気づかせてくれる作品。

## ミライフ賞 ひさしぶりだね、じいじ

山形県 天童市立成生小学校 一年

高林 周

じいじい、ひさしぶりだね。おぼんで、おうちにかえつてきたね。きゅうりのうまも、なすのうしもつくるよ。ゆつくりしていつてね。

じいじいとのおもいでは、いっぱいあるよ。わたしが、まだあかちゃんだったころ、よくだつこしてくれたね。いまでもはつきりおぼえているよ。おかゆをたべさせてくれたことも、えほんをよんでくれたこともあつたね。おにわで、みずあそびもしたし、よるには、はなびもしたよね。とつてもたのしかったね。じいじいとはなびをやったときの、ローソクのあとがいまでもコンクリートにのこっているよ。なつかしいよ。じいじい。

じいじい。ランドセルがつてくれてありがとう。とつてもきにいつているよ。いももようもだいすきだよ。小がつこうは、たのしいよ。おともだちもいっぱいできたし、せんせいもちよつぱりこわいけどとつてもおもしろいし、おべんきようは、たまにわからないときもあるけどたのしいよ。じてんしゃもかつてくれてありがとう。みずいろうでとつてもすてきなじてんしゃだよ。さいきんのれるようになったんだ。じいじいにもみせたかつたな。ランドセルもじてんしゃも。

じいじいが、きゅうきゅうしゃにのせられるとき、びつくりしたよ。そして、もしかしたら、もうあえないかもつておもつたんだ。でも、ほんとうにそうなつちやつたね。コロナで、おみまいだめだつてしつたとき、さびしかったよ。あいたかつたよ。じいじいにやつとあえたのは、つめたくなつてからだつたね。じいじいのおふとんにもぐりこんだらつめたくてかたくなつたね。でも、やつとあえてうれしかったよ。

じいじい、あしたまでみんなといられるね。ゆつくりしていつてね。かえりは、なすのうしにのつてかえるんだよ。ああたんがいつてた。じゃあね、じいじい。

八月十五日 たかばやし あまね

### 評価のポイント

語りかける文章によって「じいじい」への作者の気持ちがよく分かるようになってる。

抽選で**100**名様にクオカード500円分をプレゼント!!

# 株主アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社グループでは、株主の皆様のご意見を今後の紙面構成やIR活動に反映させるよう努めていきたいと考えています。つきましては、右記サイトにアクセスしていただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。抽選でクオカード500円分を100名様にプレゼントします。

アンケート実施期間：2020年12月25日（金）まで



<https://q.srdb.jp/>

アクセスコード ▶ **8 1 3 2**



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### SDGsへの取り組み

当社グループでは、地域に密着した総合エネルギーサービス企業として、SDGsの達成に向けて、様々な取り組みを継続的に行ってまいります。

詳細な情報は、当社Webサイト  
「持続可能な開発目標への取り組み」をご覧ください  
<https://sinanengroup.co.jp/sustainability/sdgs.html>



### 学びイベントへの出展を通じ正しい知識を伝え、次世代教育に貢献を



2020年8月、毎日新聞社主催の学びイベント「毎日メディアカフェ夏休み出前授業」にて、抗菌剤を取り扱う当社グループの株式会社シナネンゼオミックの研究担当者により、小学生を対象に「抗菌」についての授業を行いました。新型コロナウイルス感染症の拡大により重要性が高まる「抗菌」に関する正しい知識を伝えるため、菌を培養する実験などを通じて、手洗いの大切さや「抗菌」の力を体験していただきました。



※SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

## 会社情報・株式情報（2020年9月30日現在）

### ■ 会社情報

商号 シナネンホールディングス株式会社  
本店所在地 東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館6階  
創業 1927年4月11日  
設立 1934年4月25日  
資本金 156億3,000万円  
従業員 3,145名（連結）

### ■ 役員

代表取締役社長 山崎 正毅  
代表取締役専務COO 清水 直樹  
取締役 間所 健司  
社外取締役（常勤監査等委員） 平野 和久  
社外取締役（監査等委員） 重森 豊  
社外取締役（監査等委員） 篠 連

### ■ 株式情報

発行済株式総数 13,046,591株  
株主数 3,517名

#### 大株主

| 株主名                     | 持株数（株）  | 持株比率（%） |
|-------------------------|---------|---------|
| 光通信株式会社                 | 992,900 | 9.12    |
| 明治安田生命保険相互会社            | 840,000 | 7.72    |
| コスモ石油マーケティング株式会社        | 789,105 | 7.25    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） | 611,100 | 5.61    |
| 出光興産株式会社                | 473,808 | 4.35    |
| シナネングループ取引先持株会          | 457,216 | 4.20    |
| 株式会社日本カストディ銀行（信託口）      | 429,200 | 3.94    |
| 株式会社UHPartners2         | 288,300 | 2.65    |
| 株式会社三井住友銀行              | 260,787 | 2.39    |
| 学校法人麻生塾                 | 260,000 | 2.39    |

※1. 当社は自己株式2,170,723株を保有していますが、上記大株主からは除外しています。  
2. 持株比率は、自己株式2,170,723株を控除して計算しています。

### 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで  
剰余金の配当基準日 3月31日  
定時株主総会 毎年6月下旬  
単元株式数 100株  
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
同連絡先・郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-288-324（フリーダイヤル）（受付時間 平日9:00～17:00）  
公告掲載方法 電子公告により、当社ホームページ（<https://sinanengroup.co.jp/>）に掲載いたします。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた時は日本経済新聞に掲載いたします。  
各種事務手続き 詳しくは、こちらのページにてご確認ください。  
<https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

（ご注意）株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（みずほ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。なお、未払配当金につきましては、みずほ銀行及びみずほ信託銀行の本店でお支払いいたします。

|         | 持株数（株）    | 持株比率（%） |
|---------|-----------|---------|
| 個人・その他  | 2,421,635 | 18.6    |
| 金融機関    | 3,408,556 | 26.1    |
| 証券会社    | 29,044    | 0.2     |
| その他国内法人 | 3,857,172 | 29.6    |
| 外国人     | 1,159,461 | 8.9     |
| 自己名義株式  | 2,170,723 | 16.6    |

